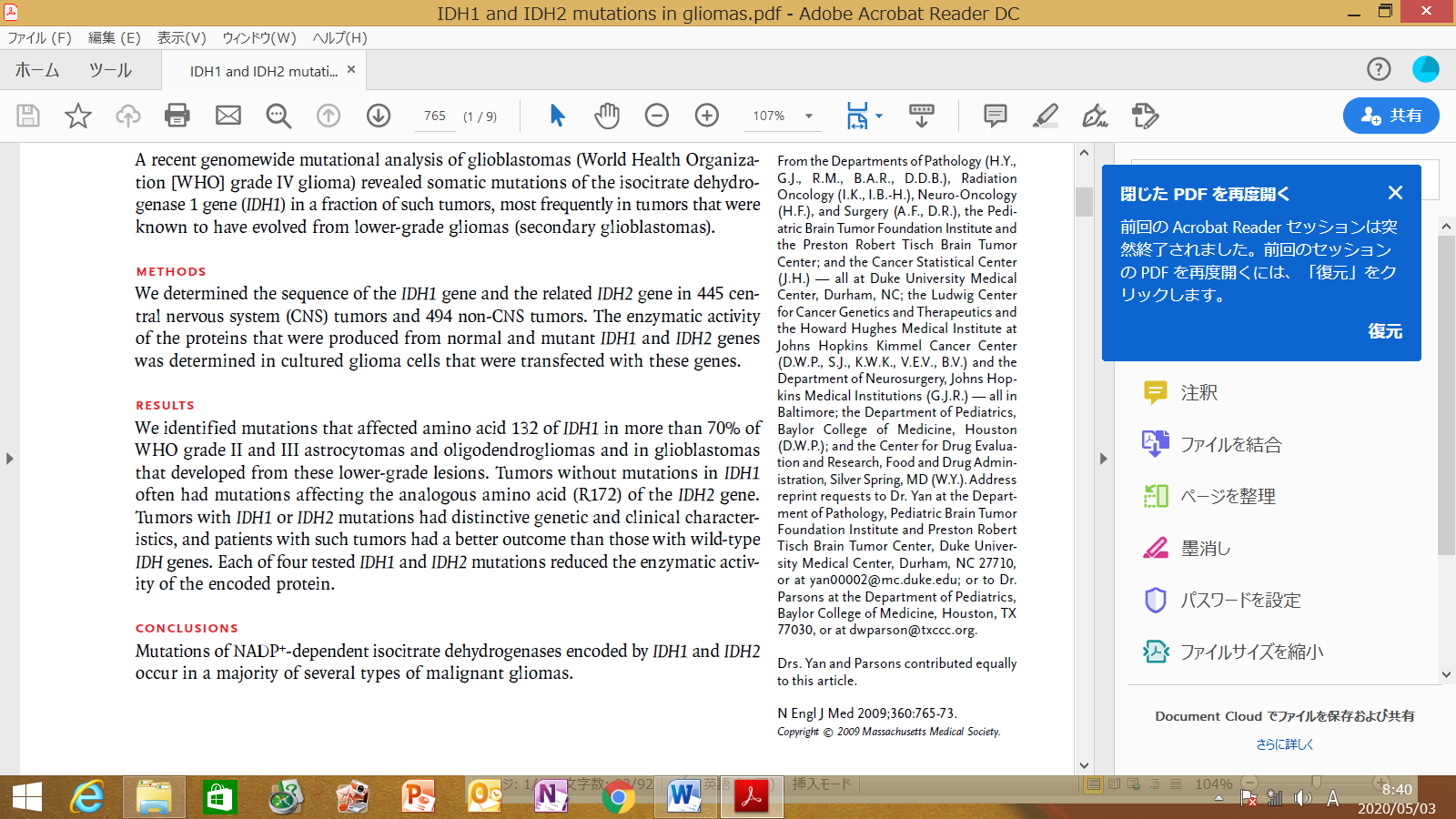
抄読会　5/15　大垣





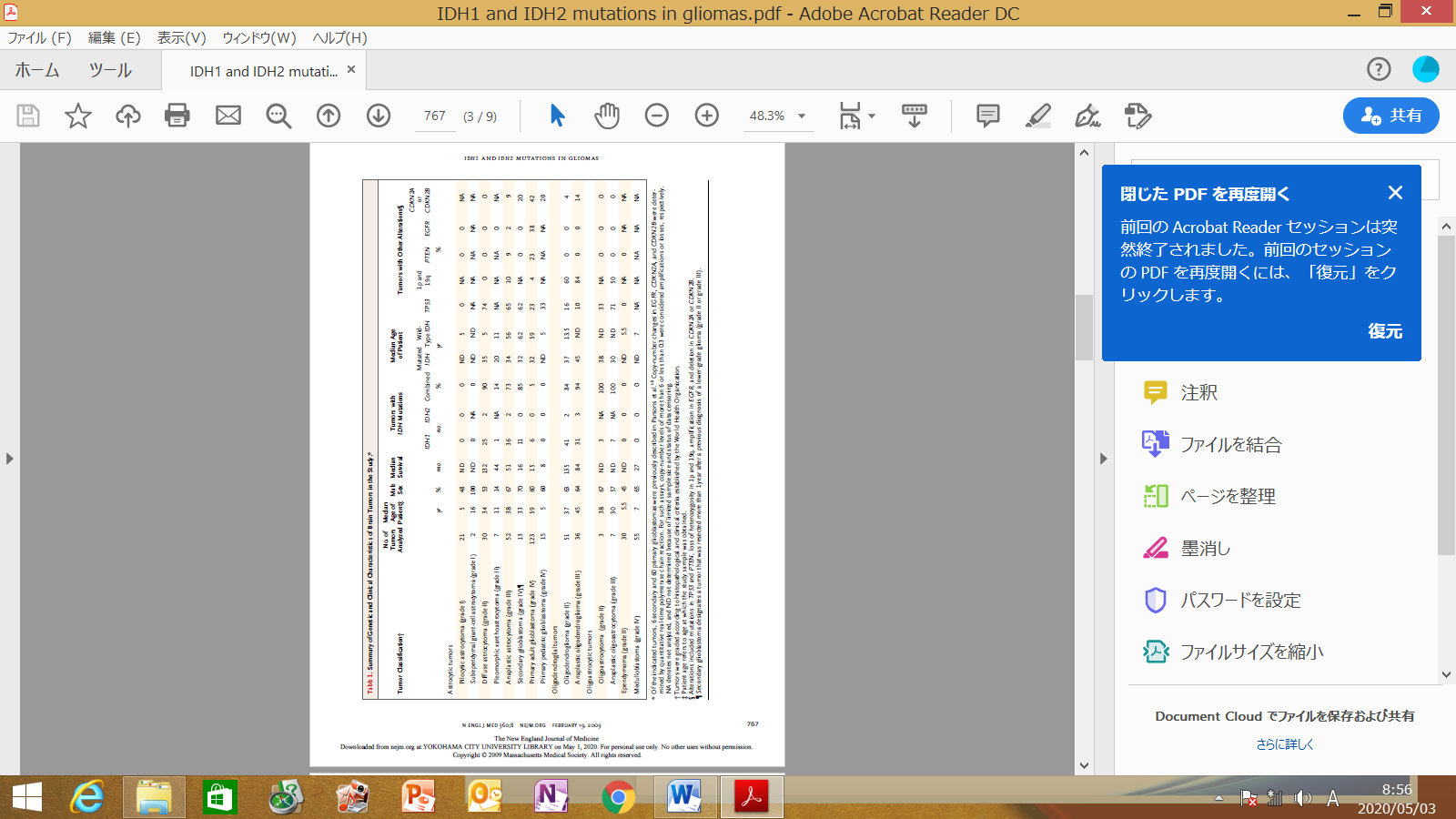
Design：他施設共同, retrospective, 症例対照

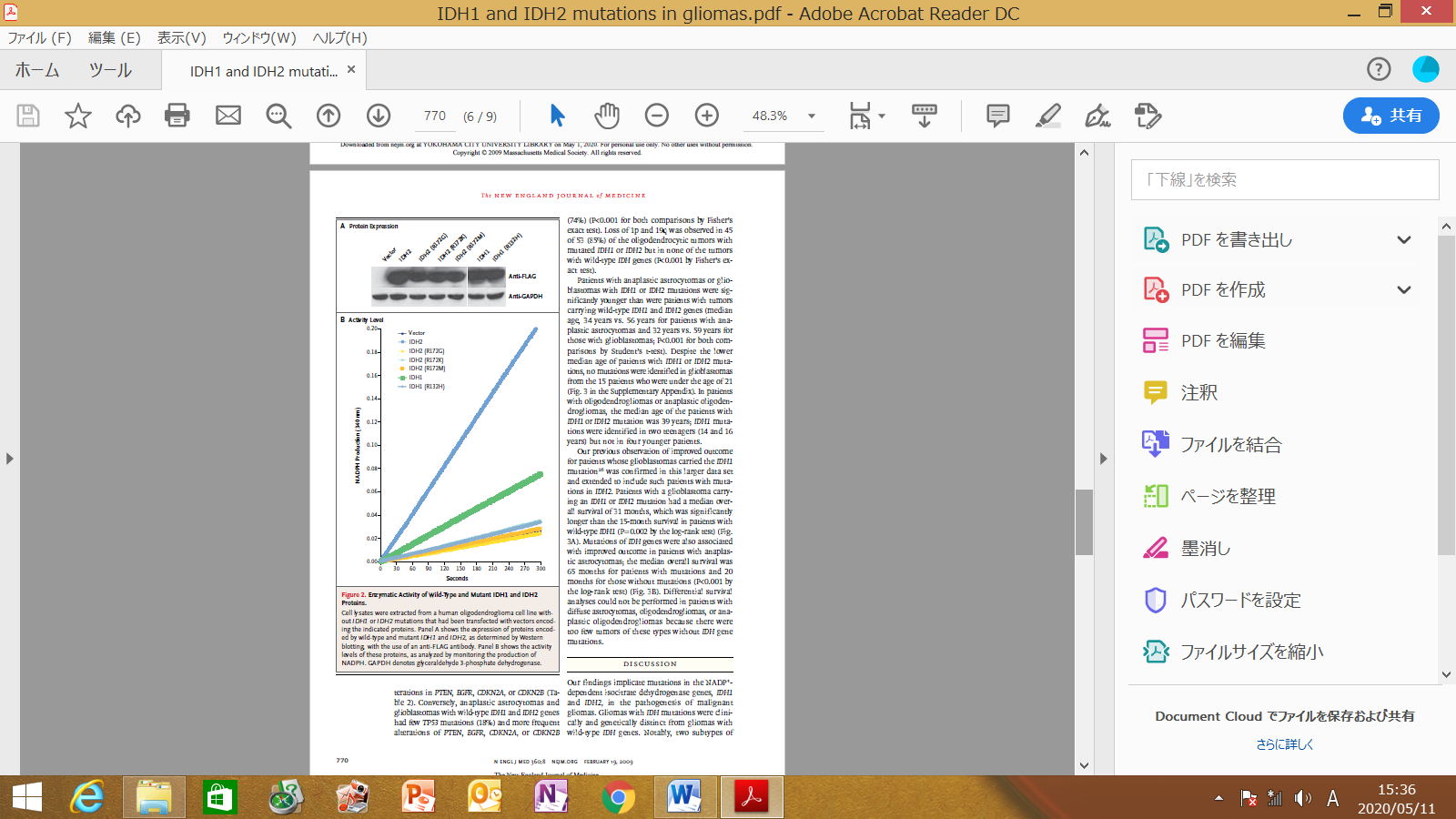
P：原発性脳腫瘍　445検体, 非原発性脳腫瘍　494検体

I/E：IDH1変異, IDH2変異の有無

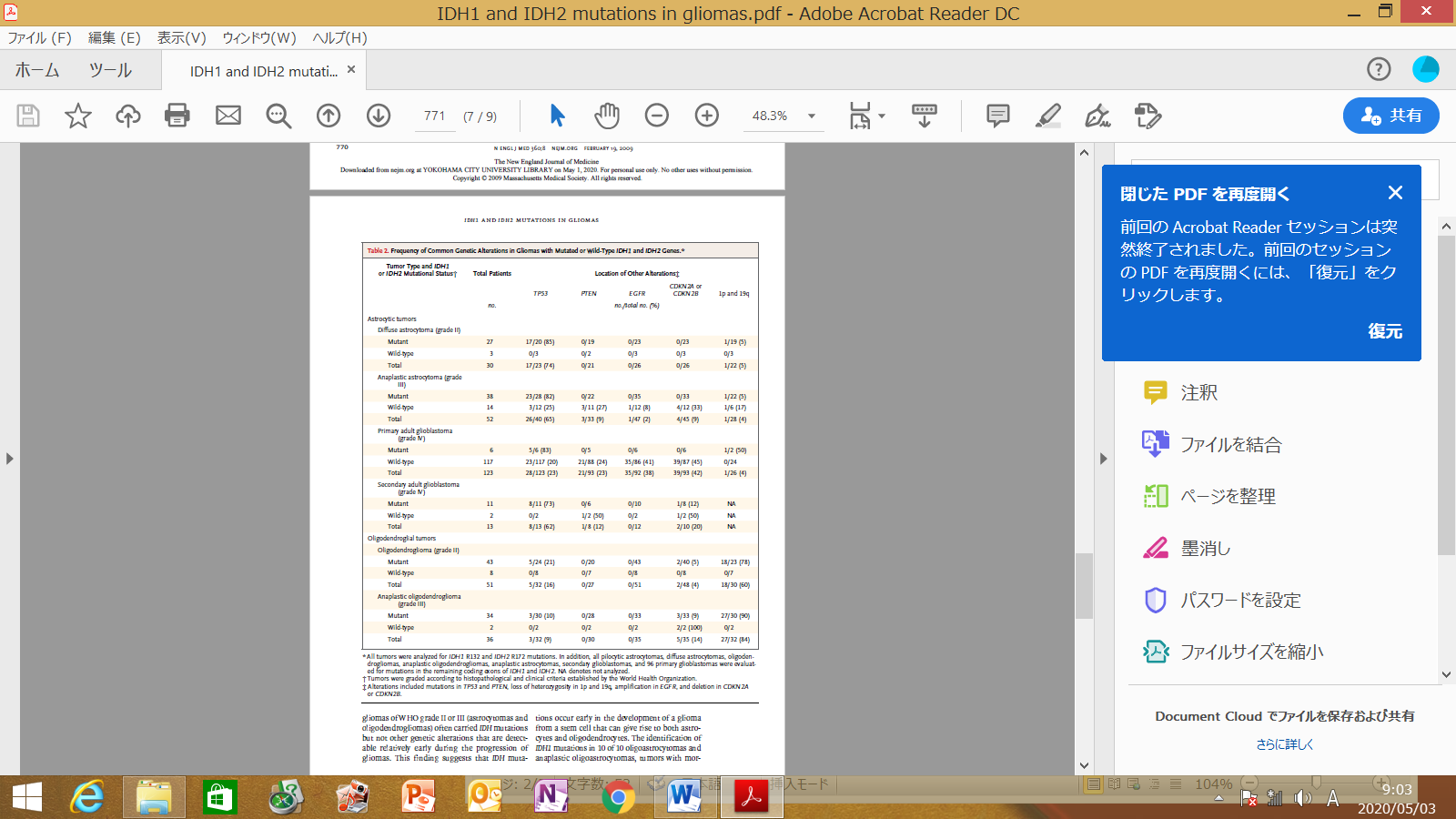
C：IDH 1/2 mutated/wild type

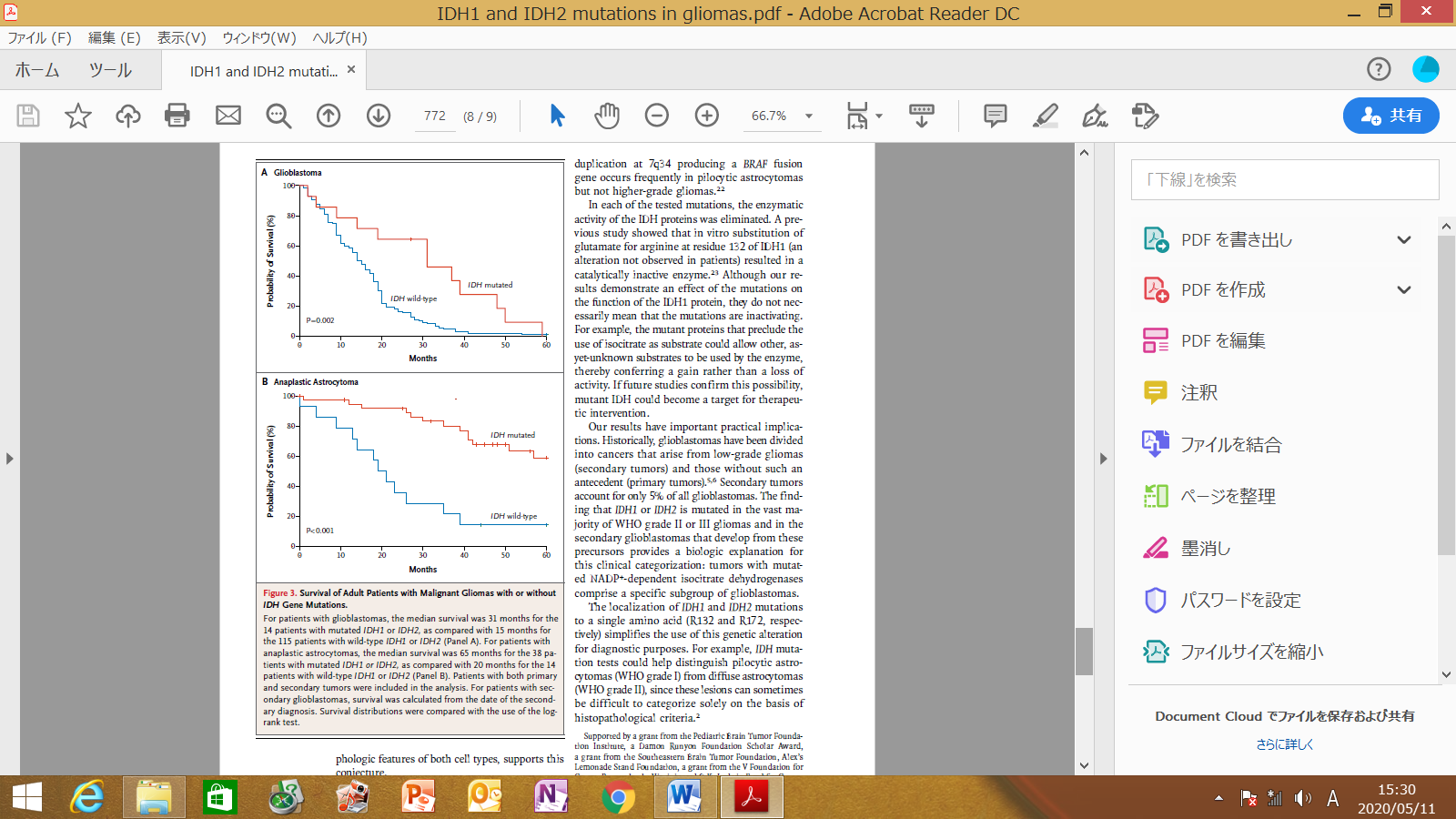
O：Probability of Survival（%）











結語

・IDH 1、IDH 2遺伝子変異が悪性gliomaの病因と示唆される。

・astrocyte/oligodendrocyteいずれにも分化しうる幹細胞が

初期の段階からIDH遺伝子変異を生じるとそれぞれに腫瘍化、

のちにsecondary glioblastomaを生じうる。

・IDH遺伝子変異の有無により組織形態的に診断がつきにくい腫瘍を

診断することができる。

（ex. pilocytic astrocytoma：gradeⅠ/difuuse astrocytoma：grade Ⅱ）

→glioblastomaへの進行時期、triggerなどあるのか、進行率は？